

長野県気象旬報

平成29(2017)年

6月下旬

長野地方気象台
平成29年7月3日

6月下旬の天気概況

この旬は、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、梅雨前線が本州の南岸に北上して曇りや雨の日が多くなりました。

平均気温は、長野、松本、諏訪、軽井沢、飯田で【平年並】となりました。

降水量は、長野、諏訪で【少ない】、松本、軽井沢、飯田で【平年並】となりました。

日照時間は、長野、軽井沢で【多い】、松本、諏訪、飯田で【平年並】となりました。

- 21日：前線を伴った低気圧が本州の南岸を通過したため広い範囲でまとまった雨が降りました。
- 22日：高気圧に緩やかに覆われて北部、中部では晴れましたが、梅雨前線が日本の南に停滞したため、南部では雲の多い天気となりました。
- 23日：高気圧に覆われて概ね晴れました。
- 24日：日中は晴れた所が多くなりましたが、梅雨前線が本州の南に停滞したため、朝晩は曇りとなりました。
- 25日：梅雨前線が本州の南岸に停滞したため、曇りで明け方を中心に時々雨が降りました。
- 26日：はじめは雨が降った所がありましたが、その後は高気圧に覆われて晴れた所が多くなりました。
- 27日：梅雨前線の影響で曇りとなり、夜は大気の状態が不安定となって北部では雨が降った所がありました。
- 28日：梅雨前線が本州の南岸に停滞したため曇りで、中部の一部と南部では午前中は雨が降りました。また、夜は大気の状態が不安定となって中部の所々で雨が降り、一部では激しく降りました。
- 29日：梅雨前線は日本の南に停滞し、日中は北部を中心に時々晴れましたが、夕方からは大気の状態が不安定となって北部、中部の所々で雷雨となりました。
- 30日：梅雨前線が本州付近に停滞したため、広い範囲で雨が降りました。

6月下旬の極値(1位)更新

気象官署・特別地域気象観測所の極値更新(6月しての順位)

該当なし

地域気象観測所(アメダス)の極値更新(6月しての順位)

要素	地点名	値	起日	これまでの観測史上1位		統計開始年月
				値	年月日	
日最大1時間降水量(mm)	東御	33.0	28日	30.5	2009/6/16	1976/6

統計期間10年未満は除く

地上気象 気象経過図：2017年06月21日-2017年06月30日

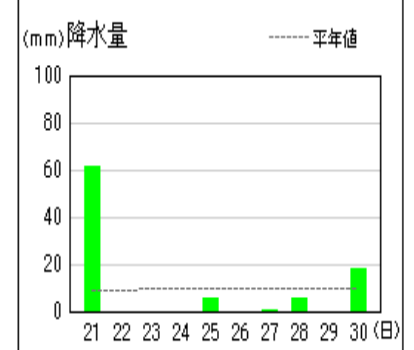
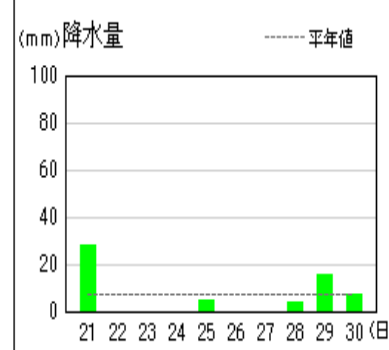
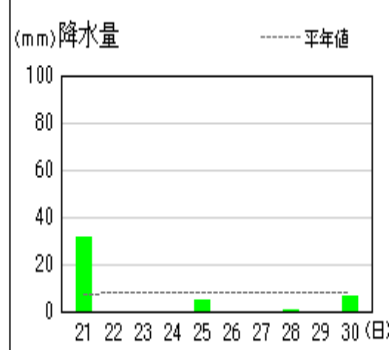
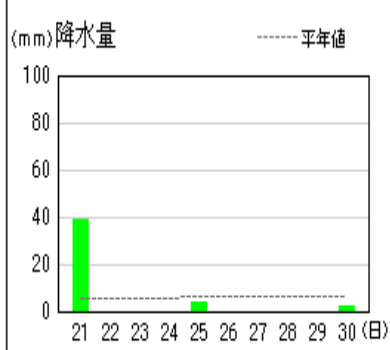
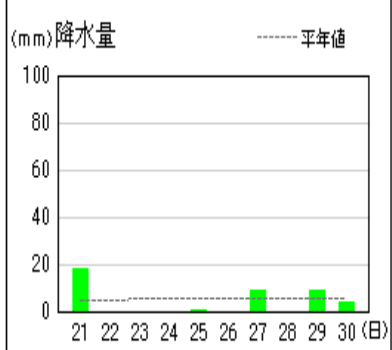
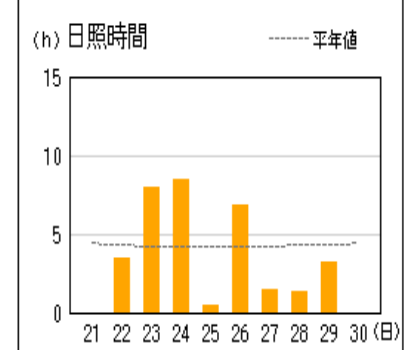
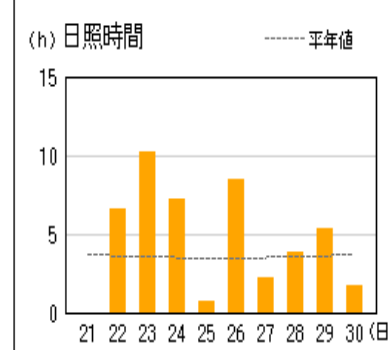
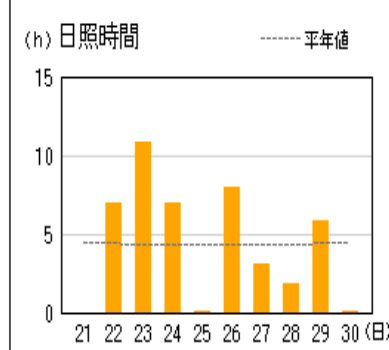
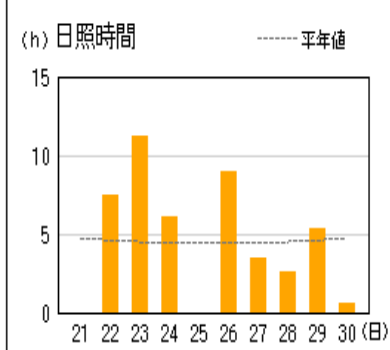
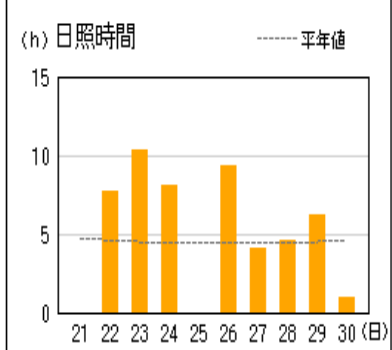
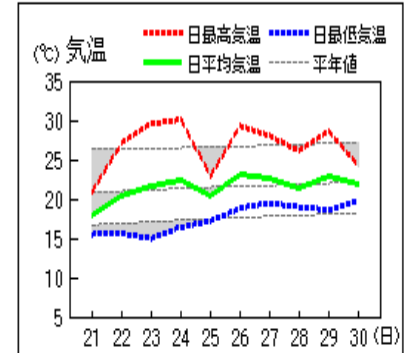
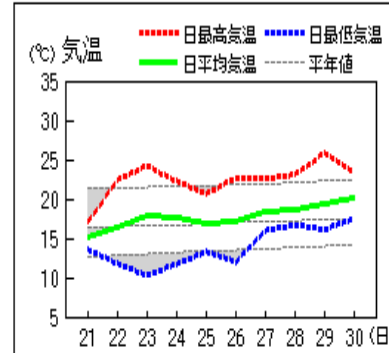
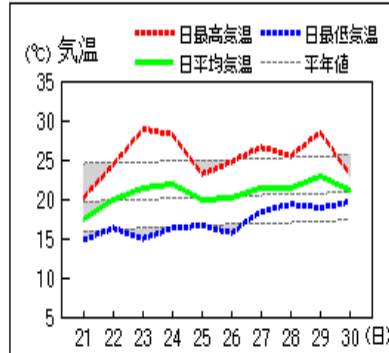
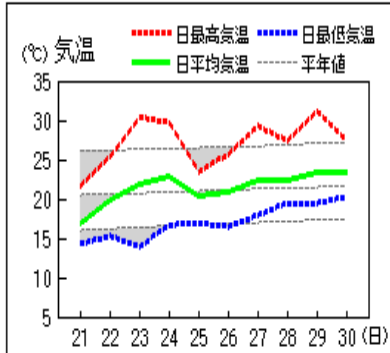
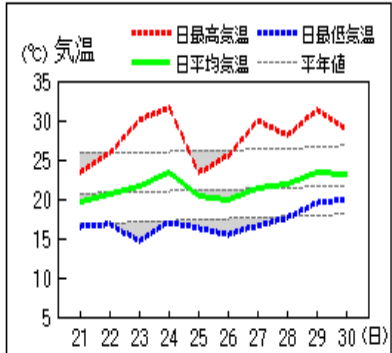
長野

松本

諏訪

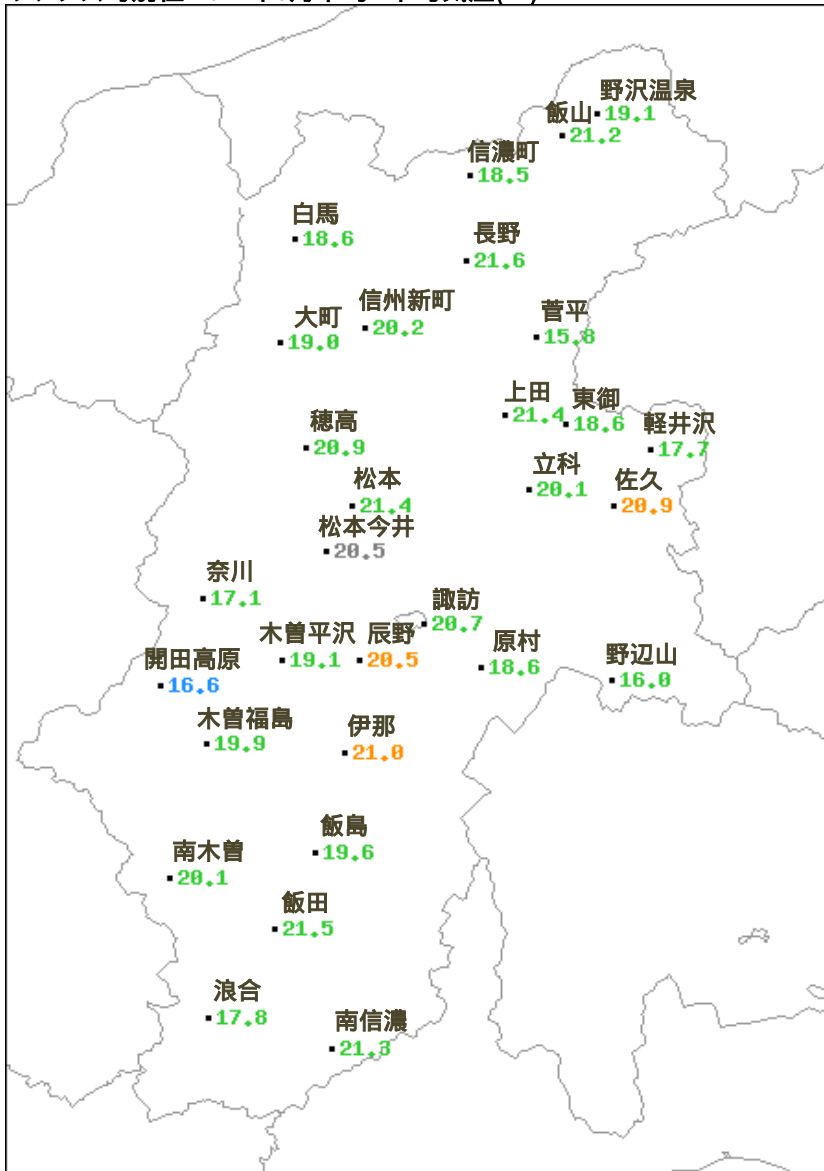
軽井沢

飯田



平均気温分布図(アメダス)

アメダス旬別値 2017年6月下旬 平均気温()



かなり低い 低い 平年並 高い かなり高い
 :資料年数が少ないため平年値または階級区分がないことを表す。

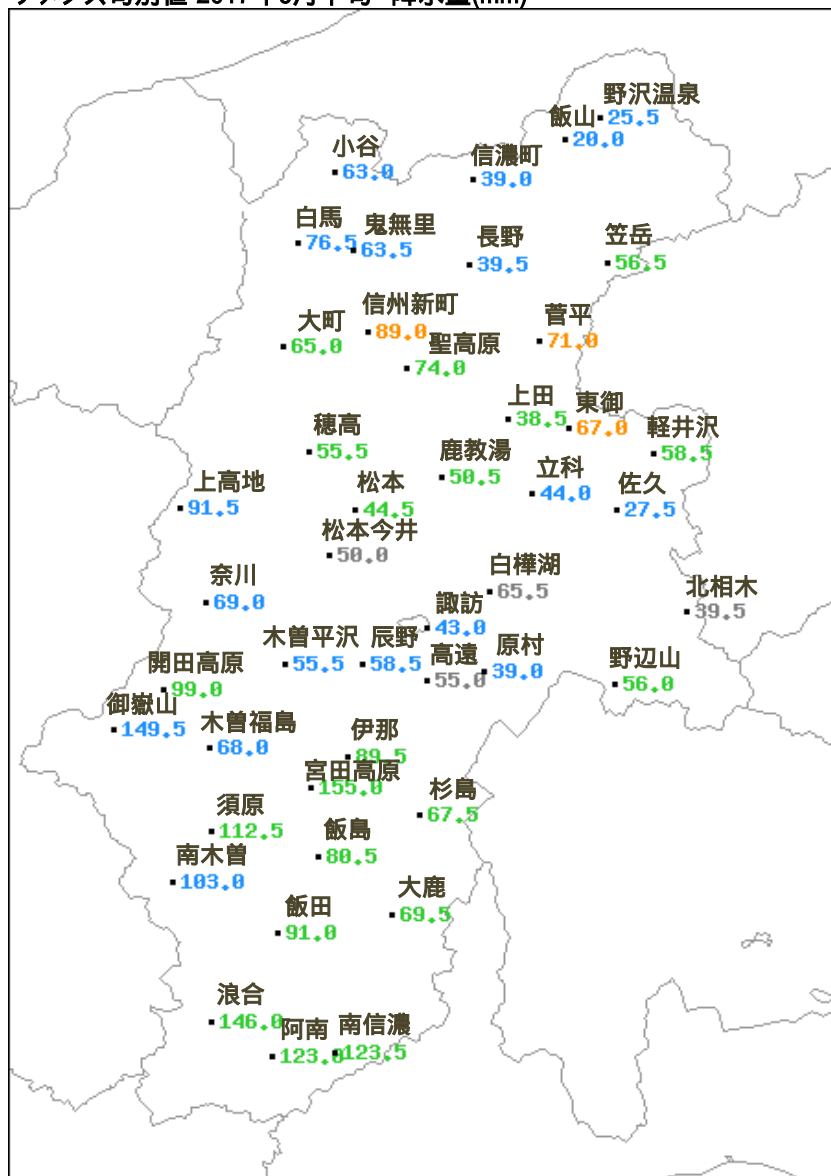
地点名	実況値	平年値	平年差()
野沢温泉	19.1	19.5	-0.4
信濃町	18.5	18.2	+0.3
飯山	21.2	20.7	+0.5
白馬	18.6	18.6	0.0
長野	21.6	21.1	+0.5
大町	19.8	18.7	+0.3
信州新町	20.2	20.2	0.0
菅平	15.8	15.9	-0.1
上田	21.4	21.0	+0.4
東御	18.6	18.1	+0.5
軽井沢	17.7	16.8	+0.9
立科	20.1	19.2	+0.9
佐久	20.9	19.7	+1.2
松本	21.4	21.0	+0.4
松本今井	20.5	21.6	-1.1
奈川	17.1	17.5	-0.4
諏訪	20.7	20.2	+0.5
開田高原	16.6	16.9	-0.3
木曽平沢	19.1	19.0	+0.1
辰野	20.5	19.9	+0.6
原村	18.6	18.3	+0.3
野辺山	16.0	16.0	0.0
木曽福島	19.9	19.5	+0.4
伊那	21.0	20.5	+0.5
南木曽	20.1	19.9	+0.2
飯島	19.6	19.6	0.0
飯田	21.5	21.5	0.0
浪合	17.8	18.0	-0.2
南信濃	21.3	21.2	+0.1

凡例

D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし

降水量分布図(アメダス)

アメダス旬別値 2017年6月下旬 降水量(mm)



■ かなり少ない ■ 少ない ■ 平年並 ■ 多い ■ かなり多い
 ■ : 資料年数が少ないため平年値または階級区分がないことを表す。

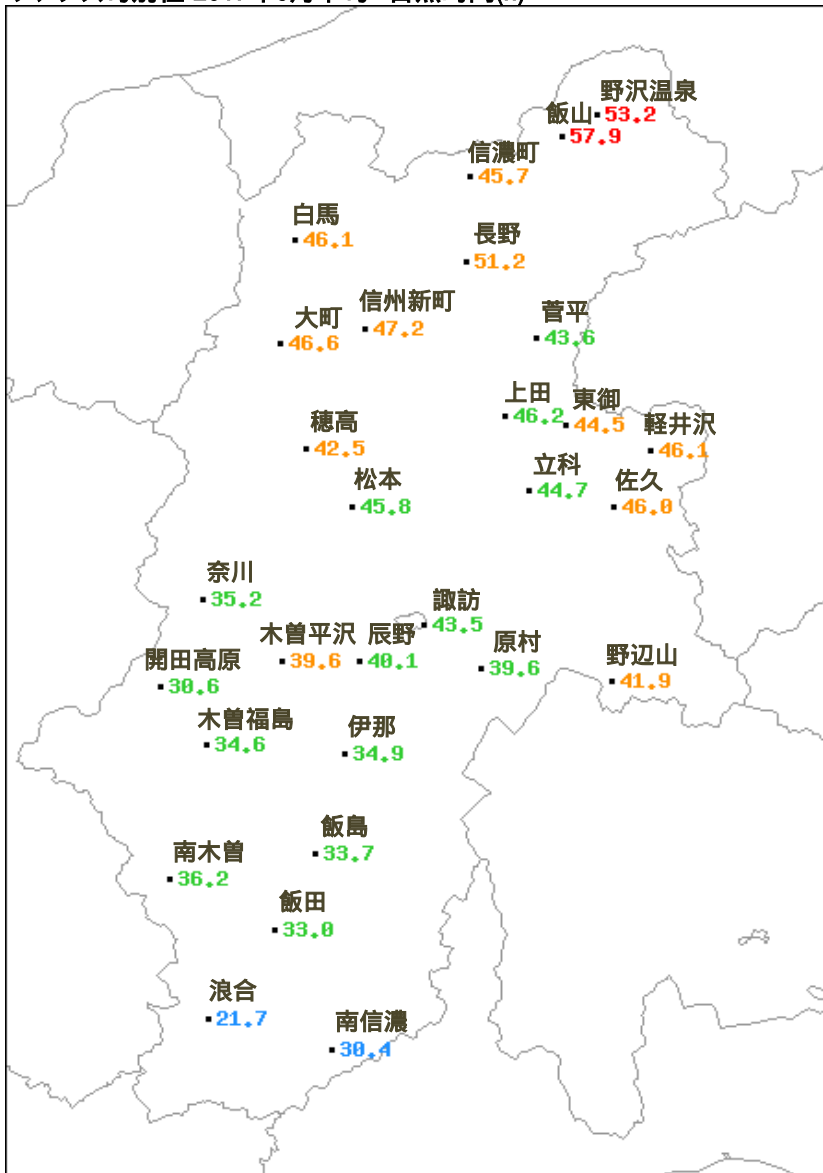
地点名	実況値	平年値	平年比(%)
野沢温泉	25.5	74.7	34
信濃町	39.0	64.0	61
飯山	20.0	58.6	34
小谷	63.0	98.8	64
白馬	76.5	130.4	59
鬼無里	63.5	93.0	68
長野	39.5	59.3	67
笠岳	56.5	75.5	75
大町	65.0	92.3	70
信州新町	89.0	70.6	126
菅平	71.0	63.2	112
聖高原	74.0	74.4	99
上田	38.5	54.7	70
穂高	55.5	69.1	80
東御	67.0	60.7	110
軽井沢	58.5	73.9	79
上高地	91.5	177.9	51
松本	44.5	64.0	70
松本今井	50.0	62.4	80
鹿教湯	50.5	71.7	70
立科	44.0	67.5	65
佐久	27.5	59.0	47
白樺湖	65.5	//	//
奈川	69.0	131.3	53
諏訪	43.0	87.2	49
北相木	39.5	//	//
開田高原	99.0	125.4	79
木曾平沢	55.5	122.9	45
辰野	58.5	98.5	59
高遠	55.0	//	//
原村	39.0	80.6	48
野辺山	56.0	84.4	66
御嶽山	149.5	261.6	57
木曾福島	68.0	114.7	59
伊那	89.5	106.9	84
宮田高原	155.0	192.5	81
杉島	67.5	92.4	73
須原	112.5	154.7	73
南木曾	103.0	169.7	61
飯島	80.5	132.6	61
大鹿	69.5	111.0	63
飯田	91.0	103.7	88
浪合	146.0	166.6	88
阿南	123.0	116.3	106
南信濃	123.5	111.2	111

凡例

D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし

日照時間分布図(アメダス)

アメダス旬別値 2017年6月下旬 日照時間(h)



■ かなり少ない
 ■ 少ない
 ■ 平年並
 ■ 多い
 ■ かなり多い
 ■ : 資料年数が少ないため平年値または階級区分がないことを表す。

地点名	実況値	平年値	平年比(%)
野沢温泉	53.2	38.0	140
信濃町	45.7	32.6	140
飯山	57.9	37.1	156
白馬	46.1	34.5	134
長野	51.2	41.4	124
大町	46.6	36.8	127
信州新町	47.2	34.6	136
菅平	43.6	40.9	107
上田	46.2	43.1	107
穂高	42.5	37.4	114
東御	44.5	38.7	115
軽井沢	46.1	32.1	144
松本	45.8	42.3	108
立科	44.7	42.9	104
佐久	46.0	39.6	116
奈川	35.2	35.5	99
諏訪	43.5	40.2	108
開田高原	30.6	34.1	90
木曾平沢	39.6	37.3	106
辰野	40.1	39.3	102
原村	39.6	41.7	95
野辺山	41.9	31.6	133
木曾福島	34.6	34.4	101
伊那	34.9	38.7	90
南木曾	36.2	36.2	100
飯島	33.7	38.8	87
飯田	33.0	39.6	83
浪合	21.7	29.6	73
南信濃	30.4	37.8	80

凡例

D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
X	資料なし
//	平年値なし

情報の閲覧・検索のご案内

長野県気象旬報に掲載されていないデータや最新のデータについては、以下をご覧ください。

気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

長野地方気象台 (<http://www.jma-net.go.jp/nagano/>)

長野県版気象庁HPデータリンク集からのデータ検索や取得

(<http://www.jma-net.go.jp/nagano/datalink/index.html>)

- ✓ 警報・注意報、気象情報...長野県に現在発表されている情報が閲覧できます。
- ✓ 過去の気象災害...長野県で突風や大雨、台風等で災害があった場合の気象状況を取りまとめた気象速報を閲覧できます。
- ✓ 天気予報、週間予報、1か月予報、異常天候早期警戒情報、3か月予報...現在発表されている情報を閲覧できます。
- ✓ 日々の天気図...過去の天気図を閲覧できます。
- ✓ 台風経路図...過去の台風の経路の資料を検索できます。

気象庁HPからの観測データの検索や取得

- 過去の気象データ検索...昨日までの気象観測データ、平年値、地点ごとの観測史上1~10位の値などを閲覧できます。
(<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>)
- 過去の気象データ・ダウンロード...昨日までの気象観測データから、複数地点の複数項目を、数日間の平均・合計値の集計や平年値や最近の数年間平均値と比較することができます。データは CSV ファイルとしてダウンロードできますので、簡単に市販の表計算ソフトに取り込むことができます。
(<http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>)
- 天候の状況...低温・少雨・日照不足などの状況を、全国各地点の気温・降水量・日照時間の5日以上平均(合計)値やその平年差・平年比でも検索できます。
(<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/tenkou/indexTenkouTem5dhi.html>)
- 気候リスク管理...2週目以降の気温の予測資料の検索や、1か月予報や異常天候早期警戒情報に用いる気温予測データ(ガイダンス)をCSV形式で取得できます。
(<http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/>)
- 地球環境・気候...異常気象、最近の天候、地球温暖化に関するリンクがまとめられています。
(<http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/menu/index.html>)
- 生物季節観測の情報...さくら、かえで、つばめ、あぶらぜみ等の開花や紅(黄)葉、初見、初鳴などの生物季節観測の情報が閲覧できます。
(<http://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html>)
- 過去の災害をもたらした台風・大雨・地震・火山噴火等の自然現象のとりまとめ資料...暴風・豪雨・地震等の自然現象による災害が発生した場合に、災害を引き起こした現象や気象庁のとった措置等の概要を取り纏めた災害時自然現象報告書を閲覧できます。
(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saigai_link.html)

平成 29 年出水期からの防災気象情報の改善について

気象庁では、平成 27 年 7 月の交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方を受け、平成 29 年出水期から、防災気象情報に関して 4 つの改善を行います。

1. 「警報級の可能性」の提供（平成 29 年 5 月 17 日 13 時から開始）

雨、雪、風の警報級の現象が 5 日先までに予想されているときに、その可能性を「警報級の可能性」として [高] [中] の 2 段階で発表します。警報級の現象は、ひとたび発生すると命に危険が及ぶなど社会的影響が大きいため、可能性が高くなくても一定程度認められる場合は [中] として発表します。

翌日までの「警報級の可能性」は、毎日 5 時、11 時、17 時に、長野県北部、中部、南部を対象に発表しています。2 日先から 5 日先までの「警報級の可能性」は、毎日 11 時、17 時に、長野県（冬期は長野県北部、中部・南部）を対象に発表しています。

5 日先まで「警報級の可能性」の提供（イメージ）

平成 29 年 月 28 日 11 時 00 分 長野地方気象台発表

長野県北部の警報級の可能性

長野県北部では、29 日までの期間に、大雨警報を発表する可能性がある。

長野県北部	警報級の可能性							
	28 日		29 日		30 日	31 日	1 日	2 日
	夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く					
	12-18	18-6	6-24					
大雨	-	-	[中]		[高]	[高]	-	-
暴風	-	-	-		[高]	[高]	-	-

[高]: 警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。

[中]: [高]ほど可能性が高くないが、警報を発表するような現象発生の可能性がある状況。

詳しくは気象庁ホームページの解説ページ「警報級の可能性」をご覧ください。
http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownbosai/prob_warning.html

2. 「危険度を色分けした時系列」での表示（平成 29 年 5 月 17 日 13 時から開始）

気象警報・注意報の内容について、どの程度の危険度の現象がどの時間帯に予想されるかを分かりやすく伝えられるよう、気象庁ホームページ等において、危険度を色分けして表示しています。

具体的には、警報級、注意報級の現象が予想される時間帯をそれぞれ赤、黄色で表示するなど、危険度とその切迫度が一目で分かる色分け表示を行い、1 時間雨量、風速などの予想値も時間帯ごとに明示します。また、警報に切り替える可能性が高い注意報についても、通常の注意報と視覚的に区別できるように表示します。

警報・注意報の色分けした時系列表示（イメージ）

平成 29 年 月 30 日 5 時 19 分 長野地方気象台発表

長野県の注意警戒事項

長野県では、30 日朝から 31 日明け方まで土砂災害に、30 日昼前から 30 日夜はじめ頃まで暴風に警戒してください。

=====

長野市 **[発表] 大雨(土砂災害)、暴風警報**

[継続] 雷、洪水注意報

30 日昼過ぎまでに洪水警報に切り替える可能性が高い

長野市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)								備考・ 関連する現象		
		30日							31日			
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3		3-6	
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	16	30	40	50	80	80					
	(浸水害)											浸水注意
	(土砂災害)											土砂災害警戒
洪水	(洪水害)											
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	↙3	↘13	↘15	↘17	↘18	↙20	↗15	↙10	↙10		
雷												竜巻、ひょう

■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
 各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。
 警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大 6 時間前に発表します。
 従来の文章形式による表示も継続。

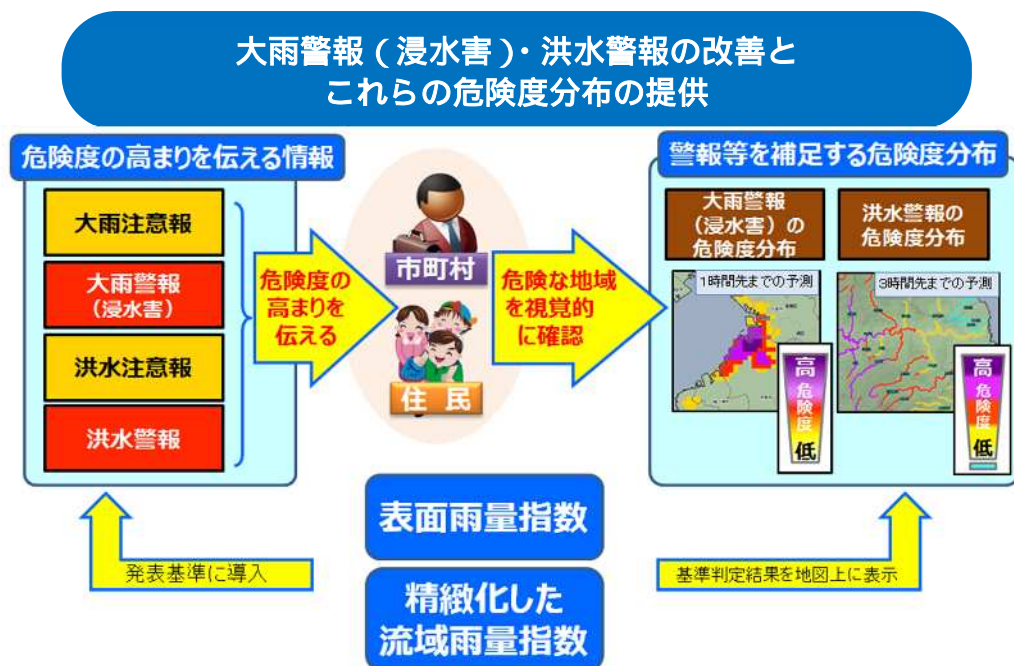
詳しくは気象庁ホームページの解説ページ「危険度を色分けした時系列」をご覧ください。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/warning_irowake.html

3. 大雨警報（浸水害）及び洪水警報等の改善と危険度分布の提供 （平成 29 年 7 月 4 日 13 時から実施予定）

大雨警報(浸水害)・注意報の発表基準に、表面雨量指数¹を導入することにより、大雨警報(浸水害)等の浸水害との対応を改善します。また、洪水警報・注意報の発表基準に用いている流域雨量指数を精緻化²することで、洪水警報等の洪水害との対応を改善します。なお、これらに併せて、これらの警報・注意報の発表基準に用いていた 1 時間雨量、3 時間雨量による指標は廃止します。

さらに、表面雨量指数及び流域雨量指数を用いて、市町村内のどこで大雨警報(浸水害)・洪水警報等の発表基準に到達するかを確認できるよう、地図上に危険度を 5 段階で色分け表示した「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供を開始します。



詳しくは気象庁ホームページの解説ページ「大雨警報（浸水害）の危険度分布」「洪水警報の危険度分布」をご覧ください。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/riskmap_inundation.html

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/riskmap_flood.html

新たな大雨及び洪水警報・注意報の発表基準については、運用開始日時に合わせ気象庁ホームページに掲載している基準一覧表を更新します。

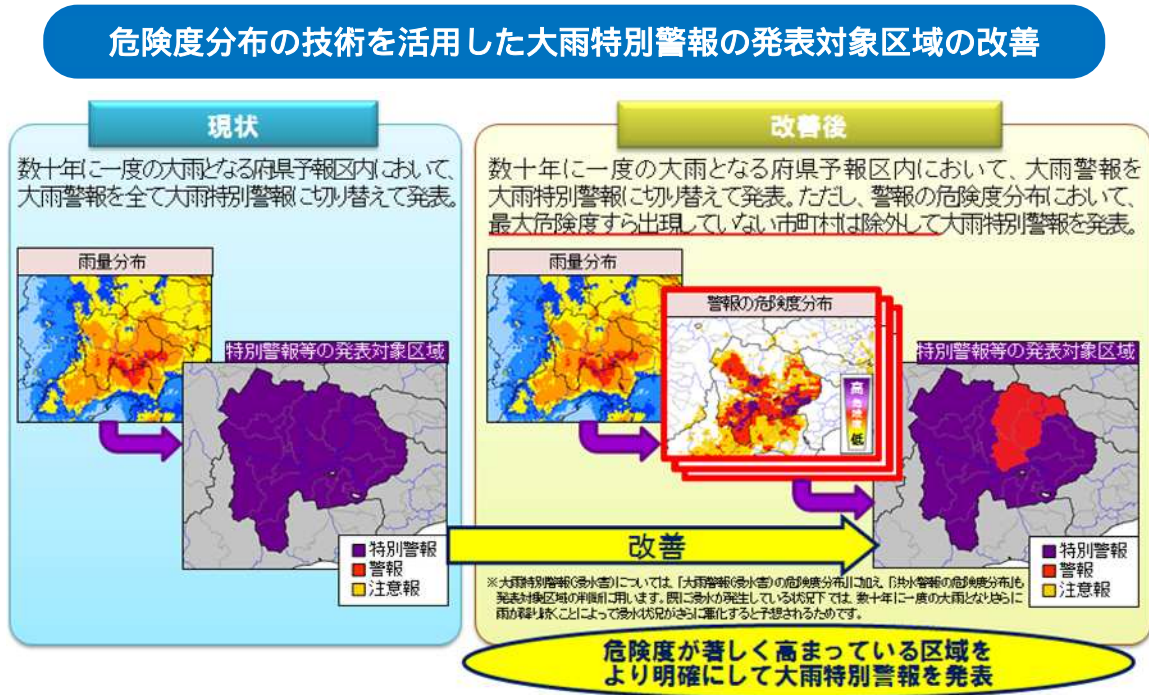
http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/ki_jun/nagano.html

¹ 表面雨量指数は、降った雨が地中に浸み込まずに地表面にどれだけ溜まっているかを指数化したもので、短時間強雨による浸水害の危険度の高まりを把握するための指標です。

² 流域雨量指数の計算格子を 5km メッシュから 1km メッシュに細かくし、流域雨量指数の計算対象を長さ 15km 以上の河川に限定していたものを小河川にも拡大します。

4. 大雨特別警報の改善（平成 29 年 7 月 4 日 13 時から実施予定）

「大雨警報(浸水害)の危険度分布」、「洪水警報の危険度分布」のほか、すでに提供している「土砂災害警戒判定メッシュ情報」などの危険度分布の技術を活用し、危険度が著しく高まっている市町村をより明確にして大雨特別警報を発表するという改善を行います。



詳しくは気象庁ホームページの解説ページ「危険度分布の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善」をご覧ください。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/riskmap_emergency-warning.html

本件問い合わせ先
長野地方気象台
電話 026-232-3773

資料の見方

【分布図】

平均気温（ ）：旬平均は日平均気温の期間平均値。日平均気温は1日の毎正時（1時～24時、日本標準時、以下同様）の気温（24回）の平均値。平年差は平年値（1981～2010年の資料から求めた値）との差（ ）。

降水量（mm）：旬合計は日降水量の期間合計値。日降水量は1日の毎正時の降水量（24回）の合計値。「-」は無降水、「0.0」は0.5mm未満の降水を表す。平年比は平年値に対する比（％）。

日照時間（h）：旬合計は日の日照時間の期間合計値。日の日照時間は1日の毎正時の日照時間（24回）の合計値（日の日照時間）。0.1時間未満は「0.0」で表す。平年比は平年値に対する比（％）。

積雪差合計（cm）：24時を日界として毎正時（24回）の積雪深差の値の合計

最深積雪（cm）：01～24時までの毎正時の観測値の最大値

正時の日照時間(降水量)は、前1時間の観測値を合計した日照時間(降水量)である(以下同様)。

階 級：「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。

また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

【統計値欄の記号】

)：準正常値。統計に用いる観測資料に欠測等が含まれているが、通常のものと同様に扱うことができる値。

]：資料不足値。統計に用いる観測資料数が不足しているため、利用に当たっては注意が必要な値。

×：資料なし(欠測)。統計を求める期間内の観測結果がすべて求められなかった場合。

//：観測機器移転等により観測資料年数が少ないため、平年値を求めていない場合。

(空欄)：統計を求める期間に観測を行っていない場合。

【観測所】

観測所の配置及び観測種目、所在地等の情報は下記URLをご覧ください。

気象庁ホームページ：http://www.jma.go.jp/jp/amedas_h/map33.html

利用上の注意

© 長野地方気象台 2017

ここに掲載したものは速報資料です。後日内容を訂正する場合があります。

本資料は、東京管区気象台ホームページの利用規約

(http://www.jma-net.go.jp/tokyo/sub_index/copyright.html)に準拠します。

本資料に含まれているデ-タ等を利用した場合は、「長野地方気象台提供」と明記願います。